

科目名	ソーシャルワークの方法Ⅳ					単位	2.0
担当教員	大橋 徹也						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	3370

●授業のテーマ

ソーシャルワークにおけるケアマネジメントの理論と方法を学ぶ。

●到達目標

ソーシャルワークにおけるケアマネジメントの理念を理解している。利用者が対面している問題解決やニーズに基づいたケアマネジメントの展開にあたって、ソーシャルワーカーに必要な技術と資質を認識している。

●学習内容(授業概要)

前半は、始めに、ケアマネジメントについて概論を学習する。

次に、アセスメントからターミネーションまでのケアマネジメントのプロセスを通して実践を学ぶ。

後半は、ケアマネジメント実践に必要な利用者のストレングスや社会資源をの活用を視野に入れ、連携やチームアプローチ理論と方法について理解を深める。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション/ケアマネジメントの概念
2. ケアマネジメントの理念
3. ケアマネジメントの背景
4. ケアマネジメントの構成要素
5. ケアマネジメントの機能①
6. ケアマネジメントの機能②
7. ケアマネジメントの方法
8. ケアマネジメントの過程
9. 過程1) インテーク(受理)
10. 過程2) アセスメント(分析)
11. 過程3) プランニング(支援計画立案)
12. 過程4) インターベンション(支援実行), モニタリング(状況把握)
13. 過程5) エヴァリュエーション(評価), ターミネーション(終結)
14. ケアマネジメントにおける記録と資質向上
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

出席毎に、①要点の説明と②質問ができるようにしておくこと。

事前学習：各自、テキストの記述を予め読むこと。

事後学習：学習後は、国家試験の過去問で確認すること

個別の課題を与える。適時：レポート提出すること。

●成績評価方法・基準

[単位認定の方法及び基準]

出席条件厳守。積極的な参加と静粛を求める。  
オリエンテーションにて説明する。  
テスト:80%, 参加:10%, レポート:10%。  
必要に応じて別途、各段階におけるテストも実施する。

●テキスト（必携）

平成 27 年 2 月 発行予定(最新版入手のこと)  
新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ第 3 版  
編集 社会福祉士養成講座編集委員会, 発行所 中央法規出版

●参考文献／その他

1. 各自、文献にあたること。
2. 適時、講義において、指示する。

●履修上の注意

オリエンテーションへの出席が必須。  
第 1 回目と第 14 回目の講義において、出席条件と評価など単位認定に関する事項を確認、理解すること。